

いま大地を踏みしめて生きる。
 ガンバリ家族の力強い人間讃歌。

■一ヶ年近い長期ロケが捉えた鮮やかな北国の四季に溢れる爽やかな涙と笑い……

看護婦の

オヤジ
 がんばる

神山征二郎監督作品
 原作 藤田健次

前田 吟
 佐藤 オリエ
 三好 由里子
 大藤 なぎさ
 藤田 美保子
 吉田 次昭
 浜田 晃
 辻 万長
 樋 浦 勉
 宮 尾 すすむ
 千野 ひろみ
 大石 規子
 戸 鏡
 樹 木 希林
 風 間 杜夫
 殿 山 泰司
 小池 朝雄
 金子 信雄
 乙 羽 信子

制作 能登節雄
 企画 赤司学文
 脚本 佐藤不器
 脚本 関 功
 撮影 南 文憲
 照明 岡本健一
 美術 大谷和正男
 音楽 針生正男
 編集 近藤光雄
 助監督 桃沢裕幸
 製作主任 黒中哲夫
 製作 近代映画協会
 協力 映画センター全国放映会



製作スタッフ

原 藤田健次
作 藤田健次
監 藤田健次
脚 藤田健次
本 藤田健次
画 藤田健次
企 藤田健次
監 藤田健次
脚 藤田健次
本 藤田健次
画 藤田健次

製作主任 藤田健次
監督 藤田健次
編集 藤田健次
音楽 藤田健次
美術 藤田健次
照明 藤田健次
撮影 藤田健次
助監督 藤田健次
製作 藤田健次
協力 藤田健次

キャスト

藤波 啓子(33才) 前田 吟
横田 直美(23才) 藤田 美保子
曾根 明 吉田 次昭
住 職 金子 信雄
坂本 節子 樹木 希林
大友 久子 千野 ひろみ
石塚 英次郎 浜田 幸子
飯野 篤 宮尾 すすむ
中 年 樋浦 勉
小峰 和広(高三) 立原 博
看 護 新吾(中二) 寺田 雅史
患 者 三上 昭子
患者の老人 春 みつみ
通 行 人 大井 弘乃
警 官 殿山 泰司
病院の受付嬢 清水 久美子
小峰 政吉 大泉 滉
病院の青年 乙 風 朝雄
佐伯 春江 乙 信 子

看護婦の

オヤジががんばる



【解説】

原作は、広く評判をよんで親しまれている藤田健次著「看護婦のオヤジがんばる」と「看護婦のオヤジ泣いて笑って」の映画化で、三十年の歴史を誇る近代映画協会が製作、映画センター全国連絡会議で配給される。監督は日本映画監督協会新人奨励賞受賞の神山征二郎が、初の長篇劇映画に取組み、そのリリシズム豊かな抒情性を存分に発揮するものである。カメラも神山監督との名コンビ南文憲が、すぐれた映像美を見せる。

●この映画は、単に看護婦の家庭生活のみでなく広く共働き家庭に生きる親子夫婦の生活に焦点をあて、夫婦の愛の四季を描き、泣き、笑いの中ににじみ渡る哀感とユーモアをまじえた、愛すべき人間たちの奏でる壮大な人間讃歌であり、ほのぼのとした心あたたまる全国民の共感を呼ぶ作品である。

●前田 吟が、「男はつらいよ」シリーズ、NHK「となりの芝生」シリーズ(現在「しあわせのとなり」などで、今や最高潮の「いい味」を見せ、十一年ぶり「ドレイ工場」以来)の主役としてハッスル。佐藤オリエが呼吸のあった奥さん看護婦として、働いているきびしさの中にもあたたかい雰囲気を感じて呼ぶ。子ども役にも「三好由里子、大熊なごさ(姉さんの子守唄)の名子役)」「鳩子の海」「しあわせのとなり」の藤田美保子、「サード」の吉田次昭のフレッシュコンビが若いこれからの共働き夫婦の生き方を真剣に演じる。他に、殿山泰司、金子信雄、小池朝雄、大泉 滉、矢野 錠などベテランの異色キャストが脇を固め、乙羽信子が特別出演する。

●七月二十三日、青森県八戸市でクランクインして以来、冬ロケ(二月)迄約一年近く四季を撮る長期撮影の大作

である。

八戸市の全市をあげての協力はもとより、市民病院、地元三八地方労働組合会議傘下70組合他の全面協力を得て大衆動員の場面撮影にも成功した。原作者はもとより勤務先の職安関係、などの協力ぶりも感激させた。東北屈指の夏祭り、三社大祭冬のえんぶりなども加わって、東北の名勝地、特に十和田湖の四季の絶景など、地方色豊かなすばらしい映像美が描かれている。

【物語】

●「看護婦なんかやめてしまえ」「ええ、やめるわよ、やめるわよ」、共働き夫婦は、今日もいいあつている。泰男は職安勤務。妻啓子は、看護婦である。「お互い理解しあえばうまくいく。好きな絵も描かせてあげるわよ」の啓子の言葉が、ウラメシイ。何しろ、新婚初日から夜勤だった啓子である。あれから10年。子どもの面倒やら家事一切、否応なく泰男の分担だ。いい加減、頭にもくるわけだ。だが幼ない娘二人の目は、仲が良いくせに」と語っている。

●次女が熱をだし「母ちゃん、母ちゃん」とウワゴトをいう。啓子は、今日も夜勤である。自分の子どもも看病もできないで、何が看護婦だ。泰男は頭をかかえてしまう。一方、ある寒い冬の夜、啓子が倒れこむように帰宅した。泰男に、病気をかかえて、仕事をたのみこんできた政治が、つきつかりの啓子の献身的な看護にかかわらず死んでしまったのだ。

患者の生命が、妻たちのいのちをすりへらしている。十分な労働条件と休息がなぜないのか。恋愛中の若い看護婦直美は結婚と同時にやめるつもりようだ。泰男は、意を決して、その思いを新聞に投書した。なんと、その反響の大きいこと……。

5月10日より
ロードショー

新宿 伊勢丹向い シネタウン
ビレッジ2
351-3129
●上映時間(連日) 11:30 1:55 4:20 6:45

●特別鑑賞券 1,000円(当日 一般1,300円 学生1,100円の処) 好評発売中!